

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月17日（金）

2 確認箇所（図1、図2）

- ・滞貨ヤード（2号機タービン建屋東側）、小割テント（1号機タービン建屋東側）、中割ヤード（1号機タービン建屋北側）

3 確認項目

1号機原子炉建屋ガレキ小割解体ヤードの整備状況

4 確認結果の概要

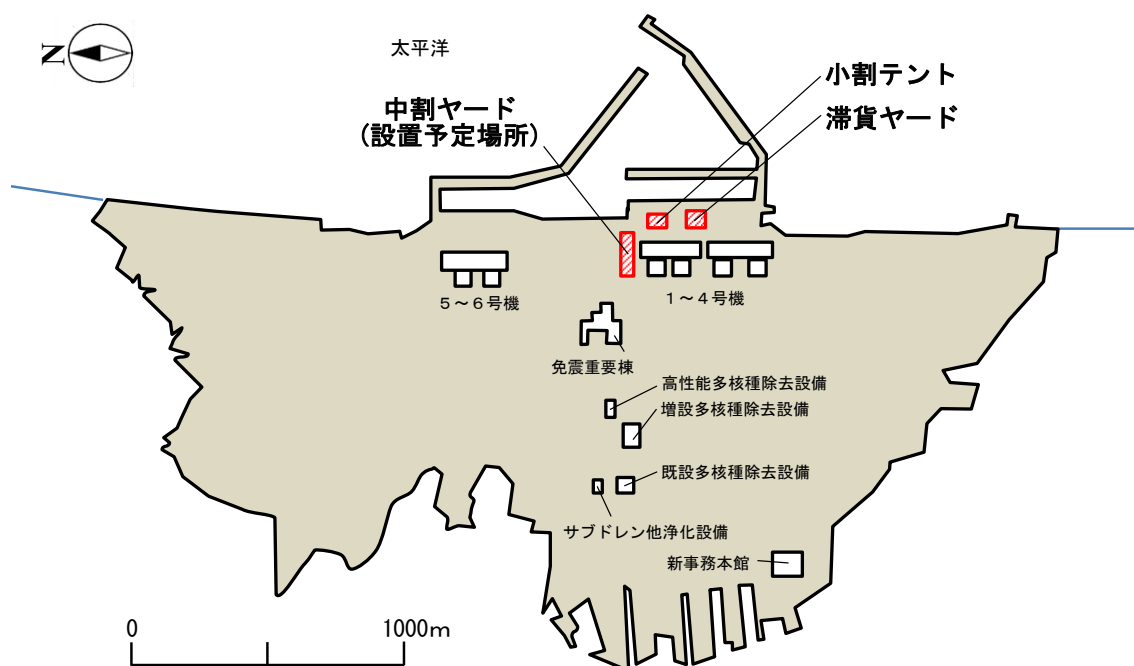
東京電力では、福島第一原子力発電所の1号機使用済燃料プールに貯蔵されている計392体の燃料について、より安定した冷却・貯蔵が可能となる共用プールへの搬出を計画している。燃料取出しに先立ち、1号機原子炉建屋を覆う大型カバー内においてガレキ撤去、オペレーティングフロアの除染・遮へいの実施、燃料取扱設備の設置等を行うこととしている。なお、ガレキ撤去作業は、1号機原子炉建屋においてガレキを運搬容器（ベッセル等）に収納し、原子炉建屋の外に搬出、運搬する計画としている。

今回、ガレキ撤去作業に関連して、1号機原子炉建屋から搬出されたガレキの滞貨ヤード^{※1}における保管状況、ガレキの切断等のために整備されている小割テント^{※2}及び中割ヤード^{※3}の状況等を確認した。（前回確認：令和8年5月29日）

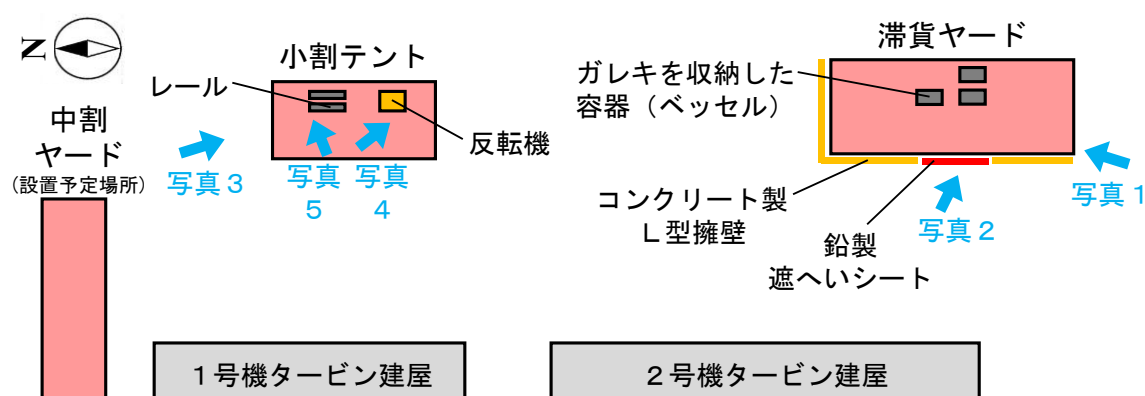
- ・滞貨ヤード^{※1}において、1号機原子炉建屋から搬出されたガレキを収納した運搬容器（ベッセル）3基が保管されていた。滞貨ヤードは、単管パイプにより区画され、周囲にはガレキからの放射線の遮へいのためにコンクリート製のL型擁壁及び鉛製の遮へいシートが設置されていた。（写真1、写真2）
- ・小割テント^{※2}は、骨組み、テントのシート及びシャッターの設置がほぼ完了していた。また、テント内には、反転機^{※4}、レール^{※5}等が搬入されていた。東京電力によると、今後、照明、空調等を設置する予定であり、完成後の小割テントでの作業はすべて遠隔操作（無人）により行うとのことである。（写真3、写真4、写真5）
- ・中割ヤード^{※3}の設置予定場所では、確認当日は中割ヤードの設置に向けた作業は実施されておらず、一時的にクレーンが置かれていた。東京電力によると、今後、中割ヤードの使用方針を検討するとのことである。

※1 滞貨ヤード：1号機原子炉建屋において運搬容器に収納し建屋から搬出したガレキを一時的に保管する場所。

- ※2 小割tent：運搬容器に収納されたガレキを取り出し、小さく切断した上で固体廃棄物保管庫に収納するためにコンテナに移し替える施設。
- ※3 中割ヤード：1号機原子炉建屋のガレキのうち α 核種による汚染がないものについて、大型カバー可動屋根から搬出した後、ガレキの切断等を行う場所。
- ※4 反転機：小割tentにおいて、ガレキを収納した運搬容器を持ち上げ反転させることで、内部からガレキを取り出す装置。
- ※5 レール：ガレキを収納した運搬容器の小割tentへの搬入等に用いられる。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 滞貨ヤード、小割tent及び中割ヤード周辺部の模式図(図1拡大図)

(令和8年7月17日時点)

青色矢印は、写真1から5の撮影場所を示す。



（写真1）滞貨ヤードにおけるガレキを収納した運搬容器（ベッセル）の保管状況



（写真2）滞貨ヤードの周囲に設置された鉛製遮へいシートの状況
（線量当量率掲示値：35 μ Sv/h）



（写真3）小割テントの設置状況（1号機タービン建屋東側）



（写真4）小割テントにおける反転機の搬入状況



（写真5）小割テントにおけるレールの搬入状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。